

あさかわ

議会だより

No. 119

令和2年5月13日

福島県浅川町議会



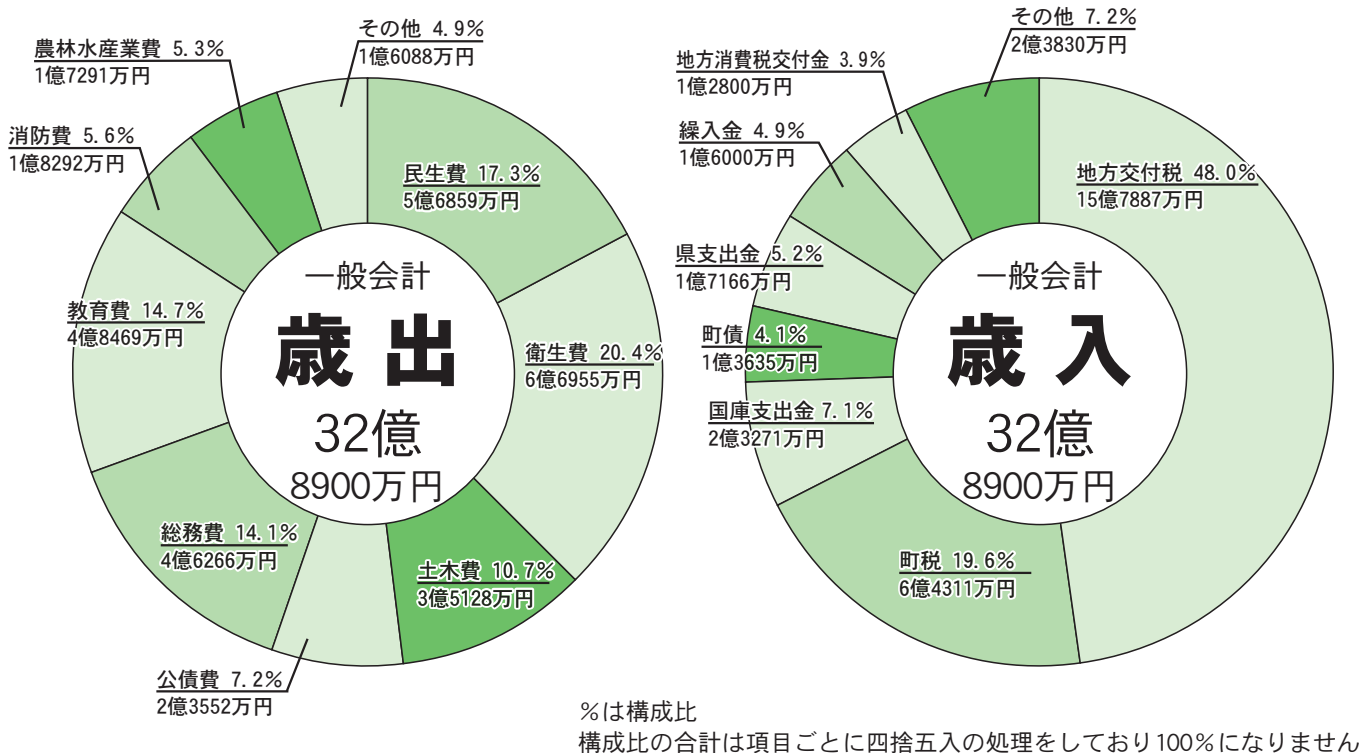
明日へ 羽ばたけ！

— 浅川小学校卒業式 —

新型コロナウイルス感染予防のため
来賓、在校生なしで実施されました

一般会計当初予算の概要	2
予算のここが聞きたい	4
副町長など3件の人事に同意	8
低所得者の介護保険料を軽減	9
一般質問 11人が問う	10
ふるさと写真館	22
町民の声 小針美重子さん	24

令和2年度一般会計



運行区域を拡充(1.5km以上)

3月議会定例会は、3月5日から12日までの8日間の会期で開かれました。

町長の施策方針では、「子育て支援」「文化スポーツで元気な町づくり」「医療・福祉」「企業育成」「農業・商業・工業」「若者の定住」の6つの決意で政策の実現に向けた町政運営を担っていく、「すべては町民のために」をスローガんに町民の皆様の住みよい町づくりのために、全力で取り組むことが表明されました。

一般質問には11人の議員が立ちました。災害復旧・教育・福祉・生活環境など38項目について質問が行われ、活発な議論が展開されました。また、条例改正や令和元年度補正予算などを審議し、原案のとおり可決しました。

令和2年度一般会計、特別会計など合わせて10会計の予算については、すべて原案のとおり可決しました。

3月議会定例会





新たに運行されることになった松野入の集会所前で

浅小スクールバスの

浅川小学校 通学バス委託料

3000
万円

従来の3コースから5コースに拡充された
通学バス業務委託料

中学校入学祝金

138
万円

浅川中学校に入学する生徒に制服購入助成とし
て1人3万円を支給する。令和2年度は46名が
対象となる。

地域防災計画改定

400
万円

地域防災計画の見直しの業務委託料

高齢者等 タクシー料金助成

330
万円

巡回バスに代わるものとして75才以上等の
方に1年間500円券×24枚までを支給する

令和
2年度

一般会計予算

町の備蓄マスクは何枚か
どのように活用するのか

問 町の備蓄マスクはどれくらいあるのか。今後の活用方針は。

答 災害の備蓄品ということで、実際マスク

が現在8千枚ほどある。当初は1万枚近くあり、学校優先で子どもたちの、特に受験を控える

中学生、それから小学生に配布した。現在が

残り8千枚ほどである。児童クラブには、指導員、子どもたちに毎日使えるものを配布した。

放課後児童クラブの子どもたちのストレス対策は

問 一斉休校になり、児童が朝から児童クラブに預けられ大変ストレスを抱えている。この子どもたちのストレス

問題に対してきちんと対応しなければならな
いと思う。精神的なケアができる専門家の意見も頂きながら対応を検討してみているか。

答 児童クラブは、保護者の協力もあり45名

から49名で推移し、平常時よりは人数が少ない。指導員のマスク着用、手洗い、子どものマスク着用は徹底されている。指導員はこまめに指導してくれている。校庭と体育館で遊ぶことを許可している。

保健師に入っていた

き心のケアの相談も行って
いる。今後専門家の意見を聞けるのであれば参考にした

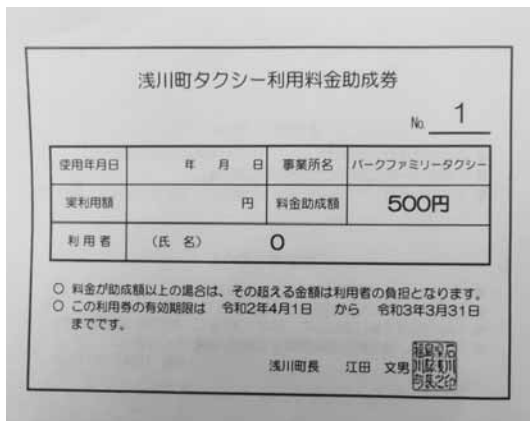
タクシー利用料金
助成事業の内容は

問 今年度から始まるタクシー料金助成事業の内容を詳しく伺いたい。

答 町内の巡回バスが廃止となり、買物弱者救済のために、75才以上の高齢者と自動車運転免許証返納者に対して、浅川町タクシー料

金助成事業として、タクシー券交付を予定している。75才以上の住民が1100名おり、その25%、275名の

使用を見込んでいます。1名につき1年間で1枚500円のタクシー券を24枚、額にして1万2000円分を交付する。



交付されるタクシー利用料金助成券

ここが聞きたい！

小貫の即身仏を
まちづくりを生かすべき

問 小貫の即身仏が東京の国立科学博物館に展示され、テレビでも紹介された。大変貴重なものであり、来年4月には、全国を巡り浅川町に帰ってくる予定だが、まちづくりに生かす取り組みを新年度検討すべきではないか。

答 現在、日本国内を巡っており、東京が終わり、今度熊本の方で展覧会を開く。来年3月富山会場を最後に、4月以降にこちらに戻る。今後、貴重な観光資源であるので、こういった取り組みの検討を進めたい。

防犯灯の設置要望に
どう対応するのか

問 各行政区から防犯灯設置の要望があるが、対応を伺う。

答 今回の予算で170万円を計上した。前

年度は約40万円程度の予算だった。通学路や必要な場所を優先し、予算の可能な範囲で実施をする。

多額の予算が計上された
個別施設計画策定業務とは

問 町の公的な施設全てについて、大きな金額で個別施設計画策定業務が行われるが、どういう業者にどのような事を委託するのか。納期はいつまでなのか。

答 委託料1300万円だが、公共施設の適切な管理を行うため町内公共施設、学校関係、公民館、役場庁舎、集会所等の現況調査を行い、今後の在り方の方角性を出す。民間の業者に委託する。国は令和2年度中には作成するよう求めている。



老朽化が目立つ中央公民館

水害にあった町民グラウンド
電気設備はいつ復旧するのか

問 水害で町民グラウンドの夜間照明等が使えないが、いつまでに復旧するのか。受電設備のキュービクルのかさ上げはするのか。

答 花火大会までには間に合わせたいので、8月上旬までには完了させたい。キュービクルはその場をかさ上げすることを予定している。高さは1・5m程度になる。

原発事故による東電への
賠償請求額と弁償額はいくらか

問 東京電力の原発事故による浅川町の損害に関し、東電に対する請求額と賠償額は。今年度はどういものがいくら賠償されたのか。それと、どういう費用がまだ賠償されていないのか。

答 一般会計に関する部分だが、請求額は1682万5111円で、平成30年度までに1159万697円が支払われた。令和元年度も東電と交渉し、放射能測定の臨時職員賃金分235万9500円が納入になった。まだ支払いになっていないのは、屋内プールへの移動バスの借り上げ料や放射能サーベイメーター購入費など287万4910円である。

冠水した施設



討論

― 賛成討論 ―

角田議員 わが町の最大の課題は、人口減少をいかに抑えるかにあり、その対策の一つの柱は若い人が住みやすい、子育て支援が充実

した町づくりにある。本予算は、中学校の制服代補助、小学校の通学バスの増便を行い、子育て支援が目に見えて進む予算になった。高齢者の足の確保としてタクシー料金助成事業がスタートしたことも評価し、賛成する。

採決

全会一致で可決しました。

ここが
聞きたい

特別会計予算

国民健康保険特別会計

― 国保税の引き下げ措置は

いつまで可能なのか ―

問 町では、国保基金を取り崩して国保税の引き下げに充てる措置をとっている。この対応は財源的にはあと何年ぐらい可能なのか。

答 基金の取り崩しだが、1年目が4500万円、今年については、予算額を考慮して1500万円、同レベル

【採決】 全会一致で可決しました。

介護保険特別会計

― 社協への補助金が

563万円増えた理由は

問 社会福祉協議会補助金が、前年度959

万円から1522万円に563万円増えた理由は。

答 地域福祉センター所長の給与と、それに伴う社会保険料等が増えたため。

問 地域福祉センターの所長を町の嘱託から社協の職員にし、給料を年100万円も上げるなどという説明は一切なかった。引き上げを凍結して再考すべきではないか。

答 早急に凍結する方向で検討させていただく。

【採決】

全会一致で可決しました。

介護サービス特別会計

― 生きがいデイサービス

やめることを考えているのか

問 生きがいデイサービスは30年度、延べにして1967人も利用している。これをやめることは考えていないと思うが何う。

答 現在週5日やっているが、一日平均6〜7人、最高で10人と聞いている。人件費がかなりかかっているの、5日やっていたのを2日ぐらい減らしたい。介護保険のデイサービスの利用が増えているので、そちらを増やしたいと考えている。

【討論】

― 反対討論 ―

上野議員 審議の中で

町長は、生きがいデイサービスを残す方向でやりたいという考えは示したが、金がかかるから新年度は日数を減らし、次年度はこの会計自体がなくなる、つまり生きがいデイサービスをなくすということだった。これはまさに福祉の後退だと言わざるを得ない

【採決】

賛成7人、反対4人で可決しました。



人事

副町長

住所

福島市大森字久保内
164番地の9

氏名

藤田 浩司

生年月日

昭和51年12月生まれ

教育長

住所

石川町字松木下17
1番地の6

氏名

真田 秀男

生年月日

昭和33年4月生まれ

監査委員

住所

浅川町大字蓑輪字蟹
沢35番地

氏名

小針 藤助

生年月日

昭和28年10月生まれ

条例改正

議員と町長等の 期末手当を引き上げ

条例の一部を改正し、1000分の165を1000分の167・5に改めるもの。また、旅費の車賃1kmにつき40円を25円に改めるもの。

する。

【討論】

反対討論 —

角田議員 昨年10%に

消費税が引き上げられて消費が落ち込んでい

る中、コロナで先行き全く容易でない。働く

人の実質賃金は3年連続で下がっている。

今回の引き上げはすべ

きでない。

賛成討論 —

須藤議員 消費税が10

%になった。消費が落ち込んでいる。では我々が増額になったこの分

を消費喚起に使うべきだと私は思うので、本

案には賛成する。

【討論】

反対討論 —

角田議員 議員の所で

述べたのと同じ理由で

反対する。

賛成討論 —

須藤議員 先の議事と

全く同じ。ぜひとも町長は、上がった分は消費喚起に、できれば町

内で使って、町の商業

活性に一役担っていた

同氏は県職員として平成11年4月から知事公室秘書、本庁総務部市町村財政課に在籍し財政運営を担当。

【採決】

全会一致で同意しました。

同氏は司法書士及び土地家屋調査士として白河市内に事務所を開設し、県の司法書士会長、また成年後見センター福島支部長を歴任

【採決】

全会一致で同意しました。

同氏は司法書士及び土地家屋調査士として白河市内に事務所を開設し、県の司法書士会長、また成年後見センター福島支部長を歴任

【採決】

全会一致で同意しました。



問 車賃を25円に下げた理由は。
答 職員は25円でやっており、議員も25円に対応してきた。今回、条例上も明確に25円に

【採決】
賛成9人、反対2人で可決しました。

【採決】
賛成9人、反対2人で可決しました。

条例改正

介護保険料を減額

消費税増税に伴い、低所得者の負担を軽減するため保険料率の改正を行い、例えば現行の2万4300円を1万9440円に引き下げるもの。

【質疑】

問 軽減措置はいつまでか。また、対象となる者は。

答 現行の消費税率10%が変わらない限り継続となる。対象者は、住民税非課税世帯と生活保護受給者である。

【採決】

全会一致で可決しました。

町営住宅の連帯保証人要件緩和

町長が特別の事情があると認める者は連帯保証人を必要としない改正を行うもの。

【質疑】

問 ①現在の連帯保証人の条件は。

②町長が認める、特別な事情の内容は。

答 ①家族でも、他町村でも近くに住む方なら身元引受を含め2名必要。

②生活保護受給者、身体障がい者、低所得者の高齢者等である。

【採決】

全会一致で可決しました。

正算補予

災害復旧費を増額

歳入歳出に1億3550万円を追加し、総額を42億3299万円とするもの。

【主な歳出】

○災害廃棄物処理委託料 2000万円

○農用地等災害復旧費 1億5879万円

○町民グラウンド災害復旧費 1627万円

【質疑】

問 町民グラウンドの災害復旧費増額の内容は。

答 グラウンドの土砂撤去と電気設備復旧工事の設計委託料である。

【採決】

全会一致で採択しました。

【採決】
全会一致で可決しました。

請願

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める請願

国と県それぞれに対し、福島県の最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出を求めた請願。

請願者

日本労働組合総連合会福島県連合会石川地区連合議長 藁谷哲男

紹介議員 金成英起

【提案理由】

どのような就労形態であろうと生活できる水準を確保し、毎年率3%程度の引き上げをはかること。

3月定例会採決一覧

全26議案中23議案は全会一致で可決しました

○賛成

×反対

議長は採決に加わらない

議案名	菅野朝興	兼子長一	会田哲男	木田治喜	岡部宗寿	渡辺幸雄	金成英起	須藤浩二	上野信直	角田勝	水野秀一	円谷忠吉	議決結果 (賛成：反対)
議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	—	可決(9：2)
浅川町長等の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	—	可決(9：2)
令和2年度浅川町介護サービス事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	○	—	可決(7：4)

1 水野秀一 議員

- (1) 里小、山小の跡地利用と校舎の解体について
- (2) 台風19号による農地、農業施設の復旧は
- (3) あさマルシェの移動販売車について

2 菅野朝興 議員

- (1) 昨年の台風19号による災害からハザードマップの見直し等があったのか
- (2) 水道の水量と水源について 何う (3) 小学校の跡地利用について何う

3 岡部宗寿 議員

- (1) 台風19号によるその後の進捗状況について
- (2) 町民グラウンドを水害からまもるには、かさ上げ工事を先にすべきでは
- (3) 町での新型コロナウイルス対策について
- (4) あさかわこども園の旧道側T字路に横断歩道の設置を

4 兼子長一 議員

- (1) 浅川町役場行政機構の再編検討について
- (2) 浅川町第5次振興計画後期基本計画策定方針について

5 須藤浩二 議員

- (1) 防災無線について (2) コロナウイルスの対策は

6 会田哲男 議員

- (1) 里小、山小跡地の有効活用の検討について
- (2) 浅川小中学校校舎整備事業について
- (3) 介護保険事業に係る地域包括支援センターの役割について
- (4) 箕輪の共同福祉施設のトイレの洋式化をすべき

7 木田治喜 議員

- (1) 浅川小学校の安全について (2) 旧浅川座問題について
- (3) 安全・安心な町づくりについて
- (4) SDGsに対しての基本的見解について
- (5) 特定地域づくり事業推進法の取り組みについて

8 金成英起 議員

- (1) 農地、農業用施設災害復旧事業の見通しについて

9 上野信直 議員

- (1) 河川の改修と堆砂除去の抜本的な強化を県に強く求めよ
- (2) 大水害時の町の対応に関する検証の結果はどうだったのか
- (3) 災害時の避難所の環境改善に町はどう取り組むのか
- (4) 公共施設で使う電力の調達を入札制にして電気代の節減を
- (5) 長時間労働を助長する教員の变形労働時間制に対する認識は
- (6) ニュータウン分譲と若者定住移住住宅建設の取り組みは

10 渡辺幸雄 議員

- (1) 第5次振興計画について (2) 町への定住移住への取り組みについて

11 角田 勝 議員

- (1) 上水道の本管などの老朽化対策を計画化して災害などに備えるべき
- (2) スクールバスに中学生も乗せる工夫をして、安全な通学の実現を
- (3) ふるさと創生事業での食品、地元の農産物などの移動販売車運行をきちんとし買物弱者に安心を
- (4) 東日本台風(台風19号)による農作物が作付けできない農家へ町からの支援をして励ましを
- (5) 国民健康保険税の均等割から「子ども」を除いて子育て支援すべき
- (6) 公約の「町民との対話」を強める町政座談会を開くこと

町政を問う

一般質問は3月6日に行われ、
 通告した11議員が町長等の考え
 を質しました。コロナの中な
 で傍聴者は3人でした。

※一般質問とは
 定例議会において、各議
 員が住民の代表として行政
 全般にわたり町当局の考え
 や疑問をたずねることです。
 また議員にとって政策の
 見直しや政策を提言する重
 要な活動の場です。

里小・山小の跡地利用と校舎の解体は

情報発信及び勧誘を行う



水野秀一議員

問

12月25日～26日に里小と山小で意見交換会が開催されたが、地域の方々よりどのような意見が出されたのか。25日の時点では山小の跡地利用の問い合わせはないとのことだったが、出席者の方々より今の校舎を利用しての跡地利用は難しいのではとの意見もあった。次の2点について伺う。

①情報、PRを多く発信すべきだと思いが、県内の企業、病院、大学、高校、介護施設など。

②毎年多額の維持費がかかるので解体も考えていくべきと思うが。

町長

1点目についてはお質しのとおり、県内外を問わず大学及び学校、事務所など様々な機会をとらえ情報発信及び勧誘等を行っている。

2点目については跡地活用を優先に地域の活性化が図れるよう進めていくが、最終的には解体することも選択しなければならないと考えている。



跡地利用が課題の小学校（旧里白石小学校）

あさマルシエの移動販売車 しっかり運行すべき

今後は定期の運行を進める

問

地域再生制度を活用し、町の課題である少子高齢化、産業の衰退を防ぐため、地元産品の販売で地産地消による地域活性化を図ることを目的として始めたこの事業だが、現在移動販売車は運行していないようだ。車に乗れない、買い物に行けない人たちは大変助かっていたが、1ヶ月位運行していないようだ。移動販売車を待っている人が多くいるわけなので、しっかり運行すべきと思うが伺う。

町長

移動販売車については昨年7月から運行してきたが、従業員の事情により運行できない期間があった。今後は定期の運行となるよう進めたいと思う。

台風19号による災害から ハザードマップの見直しは

防災会議で検討後に周知する



菅野朝興議員

問

昨年台風19号により大規模な被害が浅川町にあった。それに伴い、ハザードマップに変更はあったのか、いくつか伺う。

- ①避難場所の変更はあるのか。
- ②町民の方に周知徹底はされているのか。
- ③利用と活用について町として今後の活動方針はあるのか。

町長

①現在、職員で組織する「防災対策チーム」により浸水状況を踏まえ、検証作業をしている。変更すべき避難場所を検討している。今後、防災会議で議論していただくことを予



日渡橋上流の水郡線鉄橋

定している。
②防災対策チームで検討しているハザードマップは、防災会議において検討していただき、確認されたものを速やかに活用できるように周知する。
③避難場所を含め災害時において有効に活用していただくもので、全世帯に配布する。

町水道の水量と水源は

一部の世帯において水圧が低い

問

浅川町の地区により水道の水量に差があるのではないかと指摘があった。何点か伺う。

- ①地区により水道管の太さや、水圧が違うのではないかと。場所により、ちよろちよろしか出ない所もある。同じ税金を払っているのだから、水圧が一定でないのはおかしいのではないかと。
- ②きれいな水は、人間の健康にとっても大切なものである。水源の確保は、ちゃんとできているのか。

町長

①配水本管の水圧は地域により多少の差があるが、厚生労働省令による基準の水圧は確保されている。事業開始当初の古い配水管については、本管取出しの口径が現在よりも細く、また数世帯による給水管の共同利用がされているため、一部の世帯において水圧が低いと考えられる。
②町水道は深井戸を利用している。現在のところ水量は確保されている。今後とも適正な維持管理、水源の確保を行い、安定した水の供給に努めたい。



岡部宗寿議員

台風19号後の対応状況は

土砂撤去は殿川で現在実施中

問

①町職員で防災対策チームを新たに立ち上げるとのこと。結果を伺う。
 ②水害の堤防のかさ上げと川底の土砂を取るよう言ったが、その後の進捗状況を伺う。
 ③滝輪前の水門がえぐられた。いつから工事するのか。
 ④消防団員が出勤して、自家用車が水没したが、何かしらの補助などが町ではないのか伺う。
 ⑤殿川の堤防の舗装は、今なぜやっているのか。堤防のかさ上げと川底を取るのが先では。

町長

①過去の震災と今回の水害における問題点と改善点、初動体制の在り方、各種支援体制についての検証、見直しを現在している。
 ②堤防のかさ上げは国、県関係との意見交換会で要望した。土砂撤去は殿川で現在実施中である。
 ③3月末に契約見込。
 ④消防団員の公務災害補償等共済制度の見舞金はあるが、町独自補助はない。
 ⑤堤防舗装工事は県の事業で、雨水浸水を防ぐ等、堤防の強化と治水対策として実施と聞いている。

新型コロナウイルス対策は

国のガイドラインに沿って対応中

問

①新型コロナウイルスが世界中で広がっている状態で、今後まだまだ広がるものと考えられる。そこで我々町では、今現在どのような対応・対策を取るか伺う。

②全国的にマスクや消毒液などが売られていないので、町にある緊急用備品の中にマスクなどがあれば、児童、学生、妊婦さんなどに配布してはどうか伺う。

①新型コロナウイルス 扱、児童クラブ運営等を協議し、国のガイドラインに沿った対応を実施している。
 ②震災時にストックしてあったマスクを、児童・生徒・園児に2月12日に配布した。妊婦さんには、産前ケアなどに合わせて配布を検討している。

町長 ①2月25日、28日に対策会議を実施し、予防対策の周知、今後の対応、小中学校・こども園の休校・休園取



アクリル板が設置された役場窓口

役場行政を再編し 窓口の一本化を

大きな課題 時間をかけて検討する



兼子長一議員

問 現在の浅川町役場行政組織は、平成16年に再編したが15年が経過している。その後町民ニーズの多様化、地方分権、社会経済状況などの変化により各種事業や業務が増加している。町民サービスの向上を図るため、下水処理や道路業務担当の窓口の一本化や、大規模災害発生時は担当部署に業務が集中するの他の部署から一定期間応援するワーキングシェアも検討すべきと思うが見解を伺う。

町長 住民サービス向上のためには、簡素で効率的な行政運営が必要であると認識している。機構再編、窓口一本化など大きな課題である。時間をかけてでも前向きに検討する。

総務課長 窓口の一本化、災害対応部署、業務量に応じた職員配置について機構再編検討事項として対応する。



現在10部局の浅川町役場

振興計画後期計画に 町民の意見を

意見交換会を開催し反映させる

問 令和2年度に第5次振興計画後期基本計画を策定するが、町の最上位計画であり将来のまちづくりの目標となるものである。座談会等を開催し、旧里白石小、旧山白石小跡地問題など町民、行政区、各種団体の意見、提案を反映すべきである。策定方針を伺う。

町長 町民、行政区、各種団体と意見交換会を行い後期基本計画に反映させたい。

総務課長 前期計画について検証作業を実施した。検証結果を、まち・ひと・しごと総合戦略会議で再度検証し、様々な意見を伺って反映していく。

個別受信機の聞こえが悪いとの苦情が

不具合は速やかに対応している



須藤浩二議員

問

① 2ヶ年にわたってデジタル化された防災無線の個別受信機の聞こえが悪いとの苦情がある事実を確認しているのか。

② 町民から町の行事を知らせてほしいとの意見がある。文書でのお知らせは時間がかかるので、コロナウイルスに関するような急を要することは利用すべき。

町長

① 住民からの問い合わせに速やかに対応しているが、なお聞こえないような所は、再度訪問して対処する。
② 現在も行政に関する情報は住民へ周知している。急を要すること

については放送する。

総務課長

① 令和2年度にアナログからデジタルに切り替わるので不具合を対応する。

② 放送が数多く混在すると本来の防災行政無線の趣旨から離れるので、一定程度限定した形で対応したい。



各家庭に配られた戸別受信機

コロナウイルスの対応は

予防対策マニュアルに従い 実施

問

① 県からの指導があったのか、あったとすればどのような内容だったのか。

② こども園、小中学校の今シーズンのインフルエンザ患者数は。
③ デイサービス事業を行う施設、大勢の人が出入りする町の施設ではどのような感染予防をしているのか。

町長

① 県中保健福祉事務所から指導助言を受けて協議した。

② 施設の感染症予防対策マニュアルに従い職員の衛生管理、健康管理を適正に実施している。

教育長

② 2月末現在で、こども園が22人、小学校が116人、中学校が22人となっている。

里小・山小の跡地の有効活用は

座談会等で広く意見を聞き対処する



会田哲男議員

問 両校の跡地の活用は今後の子育て環境、町活性化に大きく影響すると考える。両地区の意見交換会が開かれたと思うが、次の点について伺う。

①意見交換会の意見内容と認識について。

②活用には座談会を開き、広く町民の考え方を聞くべきと思うが。

③これを踏まえた、一般町民を含む、検討委員会による検討を。

④利活用を介護等を含む事業者に強く働きかけるべき。

⑤町の今後の取り組み姿勢と方向性は。

町長 ①利活用の具体的な意見は特になかったが、利活用を望む意見はあった。

②座談会等で広く意見交換を図り対処することを考えている。

③検討委員会の在り方については今後、提案したい。

④活用については、事業所を含め働きかけることとする。

⑤有効活用を図ることを優先しての取り組みを考えている。

浅川小・中学校の一体化は

十分に調査・検討を重ね方向性を示したい



昭和53年完成の浅川中学校

問 第5次振興計画の実施計画から浅川の大規模改造事業を削除し、新規事業として、小学校中学校の一体化を含め計画するとして小・中学校校舎整備事業が示され、令和2年度予算に基本構想策定業務委託が計上された。次の点について伺う。

①1カ所に一体化した校舎建築に取り組むものか。

②小中一貫校の方向性はあるのか。

③小中一カ所となれば、跡地の利用も校舎整備事業と並行して進めるべきと思うが。

町長 ①児童・生徒数の減少が進んでおり、今後のあり方として、小中学校の同一敷地の建設も選択肢のひとつと考えている。

②十分に調査、検討を重ね方向性を決定していきたい。

③跡地利用は担当課とも十分協議したい。

安全・安心なまちづくりを



木田治喜議員

町の「国土強靱化計画書」を作る

問 昨年の台風19号による被害は我々の予想を超える結果となり、町として常日頃よりハード面・ソフト面の活動・整備が不可欠だ。3点伺う。

- ① 12月議会でも取り上げられた防災会議についての進捗状況は。
- ② 全国に取得の方向性である防災士資格について町の姿勢について。
- ③ 国土強靱化地域計画の当町の取り組みについて。

町長 ②防災士については資格取得の推進を図りたい。
③町の「国土強靱化計画書」は当然必要だ。

令和2年度に策定する。

総務課長

①防災計画の一部見直し、又ハザードマップの改正等必要な案件に、速やかに対応できる体制を図り、防災会議に向けて準備をしたい。



里白石 浅川橋付近の町道復旧工事

SDGs に対しての基本的な見解は

持続可能な開発目標に向け 取り組む

問 SDGsとは国連加盟国が2030年までの達成を目指し貧困や教育・環境など17ゴール、169のターゲットにわたる目標だ。地域創生や地域経済発展等々に有効な手段と言われ、地方自治体でも取り組みが顕著になり町の活性化に一役を買っている中で推進が加速されてきている。当町として少子高齢化・過疎化・人口減少・空き家・安定雇用等々の諸問題の打開に活かす考

えがあるか、見解を伺う。

町長 平成27年9月に国連サミットで採択された17件の「持続可能な開発目標」である。

町の振興計画と整合している事業もある。今後も浅川町と世界が共通する「持続可能な豊かな世界を創造する」考えで取り組む。

電力を入札制にし 電気代の節減を

市場の動向を注視し対応する



上野信直議員

問 平成28年から電力の完全自由化が行われ、それまで全国で10の電力会社が独占していた電力小売りが全面自由化され、多くの企業が政府の認可を受け、電力販売に参入している。電力自由化の目的は競争による電気料金の引き下げにあり、入札制にして電気代を節減する自治体は増えている。私が資料を入手した二本松市では今年度、学校など268施設で33件の入札を行い、以前より7500万円も電気代を節減した。財政規模からすると、わが町でも700万円くらいの節減が期待できる。



設置が増えている太陽光発電

ぜひ検討を。

町長 平成28年より電力の自由化がなされ、従来の主要な電力10社のほか新規電力事業者は330社となつている。各事業所のプランにより選択し対応することとなり、現段階においてはこれらの市場調査及びメリット、デメリットを精査し、対応すべきと考えている。今後、市場の動向を注視し対処する。

河川改修と堆砂除去の 抜本強化を求めよ

県に要望していく

問 昨年の台風19号で多くの住宅や店舗に被害をもたらした社川と殿川の合流部分での氾濫は、要因として、すぐ下のぐみが沢の河川改修がなされていないことと、毎年のように県に堆砂除去をお願いしてきたのにしっかりとやってもらえなかったことがあると思つている。河川が狭くなるぐみが沢の改修と、積もつた土砂を堤防の下に集めて終わりではなく、川から取り除く本当の堆砂除去を、急いでしっかりやるよう県に強く求めるべきではないか。

町長 今後、台風被害に対する様々な対策、河川整備計画等の見直しが行われると思うが、町内の河川の未改修箇所への対応についても県に要望していきたい。堆砂除去については、今回の豪雨被害による県の治水対策の強化により、河川の堆砂除去も進められることになつている。殿川については令和2年度に社川との合流付近まで完了すると聞いている。社川についても早急な対応が図られるよう要望している。

第5次振興計画 単独事業は慎重に



渡辺幸雄議員

財源を考慮し計画的に実施する

問 本町でも毎年人口が減少しているため、歳入が減少していくと考えられる。町単独事業でも公共の建物の老朽化により修理、立て替え等による歳出が多くなるのはやむを得ないが、新規の単独事業は優先順位を考えながら慎重に進めるべきではないか。単年度事業であればよいが、多年にわたる事業は歳入、歳出のバランスを十分検討すべきと思うが考えを伺いたい。

町長 単独事業の取り扱いについては、町の振興計画、行政区要望、私の公約等「全ては町民のために」を基本に据え、事業の必要性及び優先度と財源を考慮し対処していく。体育館、公民館も耐震構造になっていないので財源などを考慮し計画的に実施したい。



あさかわスマイルプラン

定住移住への取り組みは

他町村の例を調査し判断したい

問 ①他市町村より町に定住するため、住宅を新築する人に対して、補助金を出すなどの考えはないか。

②町職員で、町在住で採用された職員が他町村に転出している。女性職員が結婚等で他の町村に嫁ぐのはやむを得ないが、定住移住を進めている町としては、事情等もあると思うが町内に住むことを勧めるべきではないか。

町長 ①他町村からの移住者への対策としては、ニュータウンへの定住・移住促進住宅を建築し、低額で入居できる施策を講じている。お質しの件については、

他町村での事例を調査し、見極めたうえで財源の確保を図り、今後判断したいと考える。②様々な事情により居住地は個人が判断すべきもので、町職員においては十分に認識していると考えており、改めて職員の周知は適切ではないものと考えている。

移動販売車の運行を確実に

運行体制を確保する



角田 勝議員

問 町と農協、商工会の三者による事業として始めた農産物などの移動販売は、高齢者や障がい者などの買物弱者といわれる方々にとつての福祉事業的なもので、マルシェの売店と共に実施され喜ばれている。ところが、定められた日に待っていても来ない。電話しても通じないと苦情が寄せられている。当事者に聞くと「仕入れから運転まで今のままでは厳しい」との事。三者、町、農協、商工会がきちんと定期的に協議をして何が問題なのか解決して、待っている人々の声に応えるべきではないか。



「来るのが楽しみ」 移動販売

農政商工課長 移動販売は従業員1人で対応しており、このような事態になっている。大変申し訳ない。今後は人材の確保等をしてよい方向で運行していきたいと思う。三者の協議については、確かに定期的な打ち合わせがおろそかになっていた。今後は計画的なことを考えながら担当者たちと打ち合わせ等をしていきたいと思います。

国保税子ども均等割廃止を

現時点では実施は考えていない

問 国保税は増税を抑えるために町も努力をしていることはうれしいが、対象者の商店や農家は大変苦しい経営をしている。特に国保税は負担の大きな税なので、子育て世代の軽減のために、昔の人头割のような赤ちゃんも対象とする均等割から子ども（18才未満）を除くようにすべきではないか。白河市などには既に実施しているし、会社等の協会健保ではこの均等割制度はない。人口増を願っているのに子どもにも課税することは逆行しているのではないか。財政的に

保健福祉課長 子ども均等割の減免は、現在全国でも25自治体だと思いが現時点では実施は考えていない。しかし現在国と地方の協議の場で継続的に協議されており、国が財政支援を行う形で均等割がなくなるのであれば、すぐに同意して均等割をなくしたいと考えている。サラーマンの社会保障と同じようにとの事だが、今は現状の保険料を維持する形で、納税者の方には非常に税負担が少なくなると考えている。

農地・農業用施設 災害復旧事業の見通しは

一部作付が間に合わない所も出る



金成英起議員

問 社川沿岸上流より、農地・農業用施設災害復旧予定箇所での事業進捗の説明を伺う。

①今年度の作付けに間に合うのか。

②現在の状況は、どうなっているのか。

③今後どのように進めてくのか、できれば具体的な事業計画を示していただきたい。

町長 ①社川の堤防が決壊した場所では、作付けが間に合わない所も出る見込みだ。

②補助、単独事業とも復旧を順次実施しているところだ。

③早期の復旧を図って行く。



滝輪高原地内の農地復旧工事

山形県中山町議会が来訪

— 議会だよりの製作を研修 —



令和2年2月5日、山形県中山町広報常任委員会の皆さんが研修に訪れました。一行は村山隆委員長他4人と事務局1人で、円谷忠吉議長が歓迎の挨拶を述べました。上野信直委員長の進行で議会だより作成について意見交換が活発になされました。

交流のページ

古里 写真館

Vol.12

Photograph

古里の写真をお持ちの方は、ぜひご連絡下さい。誌上でご紹介させていただきます。

浅川町議会事務局 36-11182

— お願い —



町立浅川産業高等学校入学式

昭和23年4月30日に県立石川女子高等学校定時制分校として発足し、昭和48年4月に県立東白川農商高等学校に編入され、閉校をむかえる。



浅川小学校校庭での吉田富三博士

～文化勲章受章報告会～ 昭和34年12月5日

あの提言はどうなってるの？

消防団員装備品の充実を

令和2年度当初予算で雨ガッパ及び防火衣を各班に配置する予算が計上されました。



令和元年
12月定例会

答

次年度予算において優先して検討し善処する。

問

消防団員に雨ガッパを支給し防火衣を増やすべき。

大水害の被災者に 町独自の支援を

令和元年12月に浅川町災害見舞金等支給要綱が施行され、被害程度により見舞金が支給されることとなりました。

住家被害判定区分	1世帯当たり
全壊	100,000円
大規模半壊	70,000円
半壊世帯	50,000円
床上浸水世帯	30,000円
床下浸水(一部損壊)	10,000円

浅川町災害見舞金等支給額

令和元年
12月定例会

答

被災者に対する見舞金支給の実施を検討したい。

問

今回の大水害被災者に対して、見舞金の支給等の町独自の支援をすべき。



専業農家

小針 美重子 さん

安心・安全な作物作り 地産地消 国の自給率向上を

私の家は、夫、就農3年の長男、私、夫の父母で、稲作5畝と施設園芸で、土作りにこだわり低農薬で一部有機農法にも取り組み、トマト20㍎、キュウリ25㍎、露地野菜20㍎を作っている専業農家です。

農業に携わって15年の私は、作業の手伝いと家庭菜園で収穫した作物の一部を町の直売所2ヶ所に出荷しています。その一つである

「まごころ」は、私の夫を含め6人で出資、立ち上げた直売所で、お客さんの協力と、店員さんの努力により店内は楽しめる空間であり、野菜作り、料理法等、情報を得る私にとって唯一の交流の場です。

農業は機械化による支出・自然災害や天候に左右され収入が減る事もあり、経営は大変で、作業や管理にも気が抜けませんが、反面やりがいがあり、時に

楽しく、幸せを感じる時もあります。

これからも、安心安全な作物を作り、地産地消、強いては国の自給率向上を目標に農業に従事していきたいと思えます。そして、家庭菜園、プランターでも良いので、土に触れる事をお勧めします。それが少しでも浅川町の農業の活性化に繋がればと思います。



暖かい春を迎え、桜も満開の季節となりました。春は新しい出発、門出の時です。

小中学校へ入学する子供たちの笑顔まぶしく、この子供たちの元気で健やかな成長を願うものです。新型コロナ特措法に基づく緊急事態宣言が全国に発出されました。極力「3密」を避けるなど、一人ひとりが危機感を持ち、自覚した行動が必要です。一刻も早い終息を心より願っております。

会 田 哲 男

編集後記

広報特別委員会 / 上野 信直 渡辺 幸雄 水野 秀一 会田 哲男 兼子 長一 菅野 朝興

議会会議録はあさかわ図書館でご覧いただけます。町のホームページでも見ることができます。